

第12期第3回東京都福祉のまちづくり推進協議会 会長挨拶

令和2年6月12日

委員各位におかれましては、日頃より東京都福祉のまちづくり推進協議会へのご協力を頂き深く感謝申し上げます。

さて、2月後半より急速に悪化しました新型コロナ禍により、大変残念なことではありましたが東京2020大会が延期に追い込まれました。

同時に、第12期の福祉のまちづくり推進協議会の運営も当初の予定より大幅に遅れていますことを心からお詫び申し上げます。

局長のご挨拶にもありますように今期の推進協議会は東京2020大会を挟み大変重要な節目と捉えていました。第2回協議会においては「東京2020大会の継承すべきレガシーと今後の課題について」を今期後半の審議課題としてご承認いただいているところではありますが、現在やむを得ず協議会を延期しています。しかしながら、何とか次のステップを踏むためにもこの度書面会議という形で開催させていただきたくご理解をお願い申し上げます。

私たちは、この間都立競技場整備におけるアクセシビリティ・ワークショップなどの都民参加の仕組みを経験し、新たな整備の在り方を見出し、当事者、都民、事業者、東京都が一体となって推進する2020大会レガシーの方向性を確認しつつあります。今後はハードとソフトの一体的なバリアフリー化を本格的に推進し、2020大会に向けたこれまでの作業経験を区市町村の福祉のまちづくり事業に広げ、共生社会に向けた取り組み基盤を強固にしていくことが求められています。

なお、今期後半の作業スケジュールにつきましては、短期間となること、スケジュール変更もあり得ることをご理解いただきつつ、10月の意見書提出にむけて積極的にご意見をお寄せ頂きたくよろしく願い申し上げます。